

ポインセチアの育て方 | 葉が落ちる、剪定、翌年も赤くする方法

公開日：2022年10月11日 / 更新日：2023年8月10日
<https://www.bokunomidori.jp/note/pulcherrima>

ポインセチアって難しい？ ベテラン園芸店員の僕でも、数年前まではそう思っていました。でも違うんです。めちゃ簡単に、めちゃ楽しい！ 様々な悩みの対処法をお伝えします！

ポインセチアが枯れる原因。葉が落ちるのはなぜ？

クリスマスイメージが強すぎるポインセチア

水やり、日当たり。ポインセチアが傷んでしまう原因は色々あります。ですが、最たる原因は「クリスマスシーズンにポインセチアを売るのが、ポインセチアを枯らしてしまう最大の要因」だと私は思っています。なので、農林水産省の以下の見解も誤解があるように感じます。

「ポインセチアのように、日持ちのしない時期にもかかわらずニーズのあるものがある。そのような商品については、日持ちしないことを説明し、理解を得た上で販売すべき。

農林水産省：花き産業振興方針検討会(平成22年3月)
違うんです！ 誤解です！ ポインセチアは「日持ちします」。育てやすさも抜群です！ クリスマスに固執するから、失敗したり、ややこしくなったりするのです。



ポインセチアを枯らさない、最大のコツ

「枯らす・枯らさない」の最大のコツは優良農家が生産した鉢植えを、11月中に買ってもらうこと。ポインセチアが葉が落ちる原因、なんだかんだ最も重要なことは「環境変化」と「水管理」なのです。

まずは環境変化。ずばり、12月になってからポインセチアを買うのは危険です。この頃、生産現場では暖房がガンガンに炊かれています。対し家庭では、仕事に行ってる時には暖房を消しますよね(寒くなる)。こういった環境変化が落葉の原因に。なのでなるべく早く、できれば11月中旬頃から家庭環境に慣らしと置くことが大きなポイントです。



花が終わったらどうする？

ポインセチアの花は、中央部分の黄色いところ。花が終わると勝手に散ります。ひとまず、そのまま。春まで待ってください。(花の寿命は短いですが、赤い苞葉は色褪せることなく、春まで楽しめます)

ポインセチアの剪定の仕方

葉がチリチリになっても、落葉しまくり茎だけになっても「枯れた」と諦めないで。幹を触ってみてください。硬ければ、剪定で復活する可能性は十分あります。剪定の適期は春、4~5月頃。この時期に思い切って切り戻し剪定をすることをお勧めします！ 必要であれば、夏前(6月~7月頃)にもう一度剪定します。この時の剪定は「間引き剪定」といって、混みあっている枝を根元から除去します。枝数が多すぎると、株の内部が蒸れたり、赤い苞葉が小さくなってしまいます。(枝数調整することで、赤い苞葉を大きくできます)

※ポインセチアを挿し木で増やすことができます。興味があれば、剪定枝を利用して挑戦してみてください。(枝を切ると白い樹液がでます。肌が弱い人はかぶれますので、手袋をして作業してください)



屋外での育て方

剪定が終われば、外に出して育てましょう！ 室内でも大丈夫ですが、屋外の方が緑の葉がたくさん出て、茎も太くなり「木」へと変化していきます！

*いつから外？→夜温 15℃を超えだす5月中旬頃

*植え替え時期→外に出すタイミングと同じで！

※植え替えしなくても大丈夫ですが、鉢を一回り~二回り大きくした方が成長速度が早まります。

<外で育てる際の注意点> 室内から屋外に出す際は、「日陰」からスタート。1週間後には、半日陰に移動。葉焼け防止のため、徐々に光に慣らしていきます。慣らしてしまえば、夏の直射日光でも平気です！

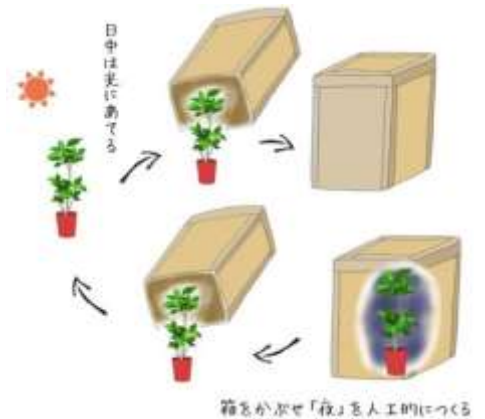
<夏の過ごし方> 暑さで枯れてしまう植物も多いですが、ユーフォルビア属の植物は暑さに滅法強い印象があります。但し水やりが追い付かず、葉がしおれたり、落葉する場合は、夏だけは半日陰に移動した方が管理がしやすいかもしれません。また、葉の色が薄いなら肥料不足の可能性あり。12月頃までしっかり肥料を与えてくださいね。葉色が濃くなりますよ！

毎年咲きます！ポインセチアを赤くする

9月頃になると、赤く色ついた天芽がでてきます！

<ポインセチアが赤く色ついていくには？>

先端に赤い苞葉がでてきたら、冬化粧が始まるサイン。ただ「緑の葉が、赤色に変化」するわけではありません。これから新たに、天芽から赤い苞葉が8枚くらい出てきてます。そして、花も付いてきます。少しでも早く、赤い苞葉を出したいなら短日処理（暗い期間を13時間以上作る作業）が必要です。夕方に段ボールを被せて、朝になったら取って。これを2か月ほど繰り返す… 私がポインセチアを敬遠してきた理由は、短日処理も理由のひとつ。（園芸店員の僕が言うのもなんですが）面倒くさくないですか？ 難しく感じませんか？ 面倒なので、自然の力に委ねましょー！



<自然の力でポインセチアを赤くするポイント>

- *9月からは、街灯が当たりにくい(夜暗くなる)場所で育てましょう
- *夜温 15℃をきり出すまでは、屋外で。
- *室内に入れたら(ひとまず)人が常駐しない窓際に

<ポインセチアの室内置き場所>

廊下の窓辺、使っていない部屋の窓辺などがいいと思います。ポイントは日中は陽があたり、夜になると暗くなる場所。（ポインセチアは寒さに弱いイメージがありますが、実際は5℃くらいまで耐えます。あっちやったり、こっちやったりせずに「ココ」と決めたほうがいいです。但し、ある程度の温度があった方が苞葉の展開はスムーズです）我が家のポインセチアは、ずっと廊下（無加温の窓辺）に置いてました。花が咲いたのは2月か3月頃。クリスマスシーズンは、シクラメンとか花がたくさんある時期。ポインセチアが無くては寂しくない。むしろ正月明け～春までの園芸店に行かない時期に、楽しませてくれました。赤い苞葉が増えていくのが楽しみでした♪我が家のポインセチア、これで3年目のシーズンを迎えます。毎年リセットできるのが、ポインのいいところ。今年は短日処理でもしてみようかな～♪



この記事を書いた人

古永 崇 | e-花屋さん店長

園芸店に勤めて20年。e-花屋さんの立上げて15年となります。

消費者視点を忘れずに、疑問に思うことなどを掘り下げ研究中です！「初心者の中級者に引き上げる」のがe-花屋さんのミッションです！

「クリスマスの花といえばポインセチア」の由来とポインセチアの花言葉

日比谷花壇 https://www.hibiyakadan.com/xmas/column/z_0093/

ポインセチアは、メキシコなどの中南米が原産地である、トウダイグサ科の植物です。ポインセチアという名前は、アメリカの初代駐メキシコ大使であるポインセット氏の名前に由来しています。ポインセット氏は、メキシコで自生していたポインセチアを見つけ、帰国の際にアメリカに持ち帰り普及させました。ポインセチアが日本に伝わったのは、明治時代です。和名は「猩々木(しょうじょうぼく)」とされていましたが、今日では日本でも和名はほとんど使用されていません。また、ポインセチアには、「バーガンディ」「プリンセチア」「シャンペンパンチ」などさまざまな種類があります。



ポインセチアの花言葉

ポインセチアには、「祝福する」「聖夜」「幸運を祈る」「私の心は燃えている」などの花言葉があります。クリスマスにぴったりの、胸の高鳴りや幸福感を表した花言葉だといえるでしょう。ただし、これらは定番の赤いポインセチアが持つ花言葉です。ポインセチアの花言葉は、色によって異なります。ピンクのポインセチアは「思いやり」や「清純」、白のポインセチアは「慕われる人」「あなたの祝福を祈る」の花言葉を持ちます。用途や贈る相手に合わせて、適した花言葉を持つ色のポインセチアを選びましょう。「私の心は燃えている」という花言葉を持つ赤いポインセチアは、情熱的な告白にぴったりです。さまざまな色のポインセチアを組み合わせると贈っても良いかもしれません。

「クリスマスの花といえばポインセチア」の由来

ポインセチアがクリスマスの花とされるようになった主な由来の1つが、色です。クリスマスによく使用される赤・緑・白の3色はクリスマスカラーと呼ばれ、赤は「キリストの流した血の色」、緑は「永遠の命や愛」、白は「純潔」を表します。葉が赤と緑、樹液が白のポインセチアは、まさにクリスマスにぴったりの植物です。また、花や苞(ほう)の形がベツレヘムの星を連想させることや、「聖夜」という花言葉を持つことも、ポインセチアがクリスマスに使用される理由であるとされています。

ポインセチアとの出会い



奄美大島で見かけた道路沿いの野生のポインセチア(2010年12月)



沖縄で見かけた中城(グスク)城跡のポインセチア(2017年2月)



わが家のポインセチア



蕾が出現 2023.12.11.



開花 2023.12.28.



赤い苞葉 2024.01.23.



緑色の苞葉の出現 2024.02.20.
花と苞葉の不思議な構造をどう理解したら良いのか？

ポインセチアの仲間



ショウジョウソウ(サマーポインセチア) 2023.10.22. 近所の花壇で



トウダイグサ 2022.03.23. 寺家ふるさと村にて

わが家のポインセチア その後

